

# まなび通信

- ◆ 最上教育事務所研修通信 第 5 号
- ◆ 令和5年12月21日
- ◆ 最上教育事務所指導課

## 教科担任マイスター研修会（向町小学校）

教科担任マイスター研修会を12月15日（金）に向町小学校を会場に行いました。

授業者は、岸 千佳子 教諭、教科は算数、学年は5年生です。

本単元は、「四角形と三角形」です。指導案には、どの時間にどのような力をつけたいかを意識した評価の観点を含めた単元計画が記載されていました。

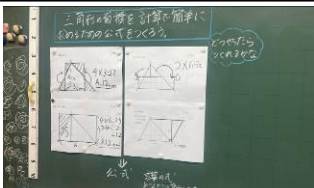
今年の春に小学校理科、秋に中学校理科の全国教科担当者連絡協議会に参加する機会がありました。その中で『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』の中に示されている指導と評価の計画（単元計画）を協議する時間がありました。単元を工夫して資質・能力をいつ、どのように育成していくのか、児童生徒に資質・能力が身についたかどうかをどのように見取るのか等、単元づくりと評価の重要性を改めて感じる機会でした。だからこそ、今回の授業参観では、単元を意識して授業づくりしている向町小学校の素晴らしさを感じました。

本時の授業では、「三角形の面積を求める公式をつくり、根拠をもとに説明すること」が目標です。

授業後に事後研究会を小学校マイスターで行いました。授業の良さで最も意見の多かった「グループ学習での児童の真剣さ」とその手立てについて、下記のような気づきがありました。

グループ学習では、子どもたちが、すごく真剣に話し合う姿が見られた。

導入で時間をかけずに、課題を提示して、子どもたちに十分に考える時間を与えていた。



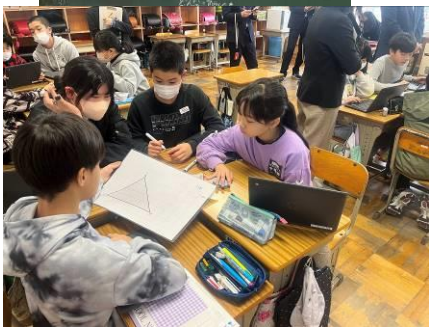
課題の提示で、前回の三角形の求め方の考えの違いを示すことで、様々な視点の中から、自分にあったやり方で公式を導くように工夫していた。

ホワイトボードが、班に一つだから、頭を突き合わせてグループで考えることにつながった。

学級の間関係がよい。普段の学級づくりが授業に表れている。

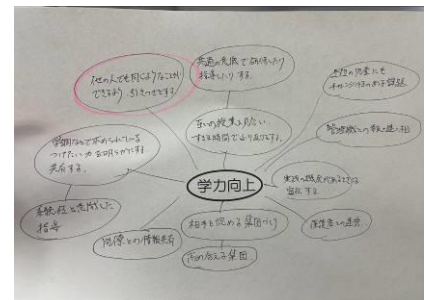
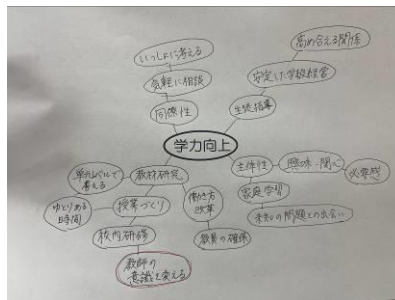
ロイロノートを活用して、みんなの解き方（考え方）を確認することができる。

前時まで学んだこと（長方形や平行四辺形の公式等）が、教室掲示などで確認することができる。



### ○ 学力向上について

教科担任マイスターには、①OJTの実効性を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を推進すること。②教科指導力の向上を図るとともに、児童生徒の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図ることの大きく2つの使命があります。今回の研修では、学力向上について、ウェビングマップを作成しながら協議しました。



今回の研修では、学力向上について、ウェビングマップを作成しながら協議しました。

学力向上について、「教職員の共通理解」「つけたい力を意識する」「高め合える集団作り」など、様々な大切にしたい視点が出されました。その視点を大切に、今年度の更なる飛躍を誓ったところです。